

## 2023年度 第33回幹事主催勉強会報告書

主催 大分市指定都市再生推進法人  
株式会社大分まちなか倶楽部  
テーマ ~まちづくり会社で働く女性の視点~  
リーダーを支えるフォローシップとは  
日時 2024年3月22日(火)-23日(水)  
場所 株式会社大分まちなか倶楽部  
大分駅・中心市街地周辺

### 【1日目】

#### 座学「大分まちなか倶楽部の事業について」

講師：事業部長 増田秀樹氏



今年度、幹事主催の勉強会の取組み第2弾として初めて「女性視点」をテーマに大分市にて開催しました。講師は大分まちなか倶楽部 事業部長 増田秀樹氏、次長 吉田可愛氏。参加者の小樽駅前ビル様、金沢商業活性化センター様、豊田まちづくりの各女性スタッフを中心に座学、意見交換、視察と和気あいあいとした雰囲気の中で学びました。

2007年「大分市」「大分商工会議所」「地元民間企業」官民協同で、大分市の中心市街地活性化を目的に設立されました。大分市商工労政課 商業販わい担当班 遠山氏にもご同席頂き、行政ともしっかり連携して事業推進されていることが伺えました。

情報発信やプロモーション、出店サポートなど様々な事業を展開されていますがその事業をたった5名のスタッフで回されているのには驚きでした。不動産を持たず知識やスキルをフル活用しなければいけない事業ばかりですが、しっかり利益を出されています。主な事業としては、「まちなか出店サポートセンター事業」として出店相談やその後のフォローアップ、イベント相談等々、利用者が大分市の補助金を上手く活用して事業を進められるようサポートし、街の賑わいに寄与されています。



珍しい事業としては、「宝くじ販売事業」です。大分駅のすぐ近くにお店を構えていらっしゃいますが、賃料を払って出店をし、店舗運営までされています。

参加者の自己紹介から始まり、皆さんがどんな思いで業務に従事されているのかお話を頂きました。参加された方の担当業務は様々で、業務に対する考え方、家庭との両立等、女性ならではの意見も交え、皆さんやりがいを持って事業に取り組んでおられます。その中でもフォローシップで大事な「おもいやり」であること痛感しました。特に大分まちなか倶楽部の女性陣（吉田氏、藤内氏、姫野氏）の溢れんばかりの思いやりによる少数精鋭の素晴らしいチームプレーには感銘を受けました。業務の進め方もそうですが、当日のメンバー間のやり取りの中でも随所に感じた次第です。

そして何より楽しそうに仕事をされていることが印象的でした。「楽しんでまちのことを考えないと、まちを楽しむことはできない」そんなことを感じました。

#### 意見交換「~まちづくり会社で働く女性の視点~ リーダーを支えるフォローシップとは」

講師：次長 吉田可愛氏



### 夜の懇親会「五郎一」



夜は懇親もかねて、地元大分の朝メの鶏料理が食べられる「五郎一」へ。最初は、男性陣、女性陣しっかり分かれて大いに盛り上がりましたが、最後はみんなで一緒に。こちらでも沢山の意見交換がありました。

### 【2日目】まちなか視察



2日目はまちなか視察ということで、大分をこよなく愛し、ボランティアで街歩きガイドをされている上原氏にご案内頂きました。（市のご担当者です）「観光リピーターを獲得する最大の観光資源は『ひと』」と力説されていた通り、説明いただく度に「へー!!」が止まらず大分のごことが大好きになりました。個人的にやられているインスタグラムではまちなかの美味しいランチ特集になっています。ぜひ大分に行く際は#ウエハランチで検索してみてください。



#### オーガニックマーケット



#### WAZAWAZA



#### TAKENISHI TERRACE



毎週、土曜日に開催（第5土曜休み）。栽培方法、製造方法にこだわり、丁寧に作られた商品はとても美味しく、体の中から元気になれる感じがしました。出店者もとても気さくな方々でお客様も関心の高い方が多く、マーケットがコミュニティの場として広がっていることも実感しました。

地元不動産会社が、シャッターが閉まったパチンコ店をリノベーションし、飲食店、ヨガ、ネイルショップ等が17店入居しています。中には若手起業育成施設~オオイトミライベース~も開所されており、29歳以下の起業家コミュニティ形成を支援しています。商店街に若い人の人通りが増えたそうです。

商店街の中で緑を感じることでできる場所をコンセプトに作られた複合施設。オシャレな飲食店が入居し共用で使えるスペースもあります。



他にも2日間にわたり、沢山の取り組みを詳細にご説明いただきました。右上写真の「おおいたまちなかmap」は金沢商業活性化センターさんのものを参考に作成されたそうです。全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議の繋がりがから好事例が拡散され、それぞれのまちなかでより良いものになっていくことも素敵だなと感じると共に、今回の大分で学んだこともぜひ持ち帰りたいと思った次第です。大分まちなか倶楽部の皆様お忙しいところ本当にありがとうございました。